

百萬圓、輸入 848 百萬圓、最近は入超が続いてゐるが 1932 年までは大體日本の出超であつた。輸出は生絲が大部分を占めその他繊維詰、陶磁器、植物油脂等で、輸入は棉花を始め石油、鐵、機械、自動車等が多い。

【金融・通貨】 聯邦準備制度により全米を十二の地區に分ち、各地區に準備銀行一をおき之が地區内の中央銀行の割役をもつ。準備銀行は地區内の國立銀行、州立銀行を株主とするもので之等を加盟銀行と呼ぶ。

貨幣單位はドル(弗)だが 34 年約 40.94% の平價切下げが行はれた。ドルは平價でわが 1.1848 圓(切下以前 2.006 17 圓)に當るが、最近の爲替相場では三圓五〇錢内外である。

【交通・通信】 鐵道は 406 千軒(35 年)、自動車數は 26.2 百萬臺(36 年初)、航空路はアメリカンエアラインズ社、パンアメリカン社その他共二十五社線の延長 92 千軒がある。船舶は 3394 隻、12337 千噸(37 年)を有し英國にすぎ世界二位。ラヂオ放送局は 699、聴取者 24 百萬人(36 年末)がある。

【軍備】 陸軍は正規軍、護國軍、編成豫備軍等より成りいづれも志願制による。正規軍の在營は一年乃至三年で、36 年の現勢力は 166 千人、護國軍は地方の志願者より成り平時は各州の守備・治安維持に當り 36 年の勢力は

10 千人。編成豫備軍は平時は將校團(115 千人)及兵團(4 千人)に分れ毎年一定期間召集される。

海軍は 36 年 9 月末で戦艦 15、航空母艦 4、大型巡洋艦 16、輕巡洋艦 10、驅逐艦 181、潜水艦 79 等があるが例の海軍五ヶ年計畫により艦船百二隻の建造を實行中である。空軍は獨立せずして陸海軍に分屬し、35 年末で陸軍は飛行機 2300、海軍は 1068 を有し、その後陸軍では空軍五ヶ年案を立て毎年八百機を建造することとなつてゐる。

【教育】 教育制度は州により多少の違ひはあるが概して六年制小學校と之に連續する三年制初級中學校(即ち七—十六歳)、及び八年制小學校(即ち八—十六歳)を義務制としてゐる。中學校は初級校のほか上級中學、四年制中學がある。34 年の公立小學校及中學校 243 千校、大學・專門學校及職業學校 1166 でこのうち大學 130 である。

▶ アラスカ 面積 1519 千方軒、人口 62 千人(35 年)。1867 年露國より買收せるもの。知事が統治す。産業は漁業を第一とし鑛業、林業が之につぐ。漁業は鮭が多くその他鱈、鯨、鯨があり、35 年の漁獲高 31 百萬弗、鮭は鹽詰として米國へ多く輸出される。鑛産は金を始め銀、銅、鉛石炭等があり金はユーコン河、ノーム等を主産地とし 34 年産額 15 億。南部海岸地方は森林が多くパルプ用材に富む。また毛皮の産も多く之等は米國、英國、日本等に賣

捌れる、貿易は米國を最大取引先とし34年輸出45百萬弗、輸入0。鐵道176軒、米國へは定期航空路がある。

▶布哇 面積17千方料、人口393千人、このうち日本人は149千人と云ふ多數を占む(36年6月末) 首都ホノル、138千人、ヒロ19千人(30年\*)。洋上2獨立島國として存在してゐたが1898年島民多數の要求で米國に合併した。知事が統治す。砂糖、パイナップルは同島の二大産物でその他珈琲、バナ、等がある。甘蔗糖の産額は36年909千噸、貿易は35年の輸出100百萬弗、輸入85百萬弗で米國を主要取引先とする。航空路は島内のほか米國の定期太平洋横斷航空路に連絡してゐる。學校は小學校270、布哇大學1等がある。

▲プエルト・リコ カリブ海に位し面積9千方料、人口1724千人(35年末)。舊稱ポルト・リコは12年廢された。總督が統治す。農産物は砂糖を第一としその他煙草、珈琲、果實等がある。36年の甘蔗糖産額803千噸、鐵産はマンガン、金、銀等がある。貿易は36年の輸出99百萬弗、輸入84百萬弗、取引先は米國を主とし輸出の約六割は砂糖で占めてゐる。

▶ヴァージン諸島 面積0.3千方料、人口22千人(35年末)。主産物は甘蔗糖、ペーラム油で牧牛も行はれる。

▶グアム島 面積0.5千方料、人口20千人(35年末)。(米國の海軍根據地にして海底電線の中繼をなす。産物はコブラ、米、甘蔗糖がある。

▶米領サモア ツ、イラ島及びその他より成り面積0.2千方料、人口10千人(35年)。ツ、イラ島に海軍の無線局がありパゴパゴ港は米海軍の根據地。

## メキシコ

(REPÚBLICA MEXICANA)

【面積・人口】 1969千方料、人口1870千人(35年末)。首府メキシコ961(千人)、グアダハラハラ185、モンテレイ137、ヴェラクルズ72(以上30年\*)

【政治】 古くはマヤ文化の發達を見たが十六世紀中頃より西班牙に支配され1822年之より獨立した。其後テキサス、カリフォルニア其他地方を米國に譲り、1917年には憲法を改正、聯邦共和制を布いた。併し其後は革命内亂續出し内亂の國とまで云はれたが、現大統領カルデナス(L. Cardenas) 出てて最近は平靜を持してゐる。國會は上院(58名)、下院(170名)より成り、いづれも普選による。内閣は大統領を首班に入名の大臣より成る。

【財政】 1936年の豫算は歳入344(百萬ペソ)、歳出

379。支出は国防費69、教育費48、土木公共事業35を主とす。

【産業】 風土よく農業及牧畜に適す。産物は玉蜀黍、小麦、甘蔗、棉花、珈琲、ヘネケン(シザル麻)、煙草等があり、シザル麻はユカタン半島を主産地とし産額世界一である。家畜は調は古いが1930年で、牛10.1(百萬頭)、豚3.7、馬1.9、緬羊3.7がある。林産は松、モミ、マホガニ、ログウッド等があり最近ではゴムも採れる。

1935年		36年	1935年		36年
玉蜀黍	1 675	...	銅	41.2	...
シザル麻	92	...	アンチモニ	4.6	7.3
珈琲	48	...	鉛	179	210
金(萬)	21.2	23.4	亜鉛	32	31
銀(萬)	2 351	2 409	原油	5 973	6 127
			(単位 千吨)		

産物は甚だ豊富で銀は産額世界一、鉛は米國につき世界二位、アンチモニも支那につき二位、金は六位、原油はタンピコ附近を主産地とし産額は世界七位等である。併し之等の採掘権はいつでも大部分が外國資本、特に英米資本に握られてゐるが、たゞ昨年三月大統領令を以て石油の國家管理をなすこととなつたのは注目に値する。

工業は食料品 紡績、煙草製造などが行はれてゐるが未だ充分の發達をしてゐない。

〔貿易〕

	1934年	35年	36年
輸出	644	750	775(百萬ペソ)
輸入	334	406	464

輸出は銀205、鉛74、石油52、亜鉛45、金22等を主とし、輸入は機械器具 80、礦物 76、船車 96、化學製品 44が多い。國別は米國(出741:入265)、獨逸(53:48)、英國(76:23)等を主とす(以上35年)。

【金融・通貨】 メキシコ銀行が紙幣を發行す。貨幣單位はペソで金本位を建前とするが金本位停止後、銀本位を用ゐたが之も米國の銀政策の影響で中止された。ペソは平價でわが一圓丁度に當る。亦36年中の對米ペソ價は27.85セントを動かさなかつた。

【交通・通信】 鐵道は23.3千軒(34年)。航空路はアエロヴィアス・セントラル社その他社線の延長6.4千軒がある。ラヂオ放送局64。

【軍備】 國民は現役軍あるひは國民軍に服す義務がある。35年の現役軍は47千人。空軍は六中隊、飛行機45がある。海軍と云つても海岸警備艦1、砲艦7がある。過ぎない。

【教育】 初等教育は義務等で小學校5369(31年調)がある。中學校は108、大學8がある。

## グアテマラ

(REPÚBLICA DE GUATEMALA)

【面積・人口】 110千方料、人口2373千人(35年末)。首府グアテマラ134千人(34年)。

【政治】 十九世紀の初頃西班牙の支配より脱し、之に續く中米諸國と中央アメリカ聯邦を形成したが間もなく分裂、1848年獨立して共和制を布いた。現在は大統領ウビコ(J. Ubico)の下に一院制の國會(74名)を有し、内閣は大統領を首班として七相よりなる。

【財政】 1935年度の豫算は歳入出とも9.1百萬ケツサル。主要財源は關稅3.5、酒・煙草稅1.6等で、支出は軍事費1.8、國債費1.4等が多い。

【産業】 土地肥沃で農業を主とす。産物は珈琲を第一とし、その他バナ、甘蔗糖、玉蜀黍、チークレガム(特産品)等があり、珈琲は産額世界五位で36年77.0千噸(前年66.8)、同國輸出の大宗となつてゐる。チークレガムはチウインガムの原料として米國に送られる。家畜は牛469(千頭)、種羊181、豚12、馬75等がある(33年度)。森林地は約5千方料でマホガニ材、染料材等に富み、僅少の輸出もある。鑛産は銀、金、銅、鐵、鉛等があるが充分に開發されてゐない。

【貿易】 1936年の輸出15.1百萬ケツサル(前年12.5)、輸入11.5(9.6)。輸出は珈琲が約八割を占めその他バナ、金、獸皮等で、輸入は綿織物、小麥粉、原油、絹及人絹織物などである。相手國は米國(出14.5・入7.8)、獨逸(3.6:6.8)、英國等を主とす(以上36年)。

【金融・通貨】 グアテマラ中央銀行が紙幣を發行す。貨幣單位はケツサル(Quetzal)で平價でわが2.00617圓に當る。

【交通・通信】 鐵道は1.2千方料、航空路は中米諸國へ連絡す。ラヂオ放送局2がある。

【軍備】 陸軍は徴兵制で十八—五十歳まで服役の義務がある。36年の現勢力は約6.0千人。

【教育】 小學校2224、中學校53、グアテマラ大學等がある(35年調)。

## サルヴァドル

(REPUBLICA DE EL SALVADOR)

【面積・人口】 34千方料、人口1597千人(35年末)。首府サルヴァドル100千人、サンタ・アナ78千人(34年)。

【政治】 グアテマラと同じく西班牙領より獨立後中央アメリカ聯邦に加盟したが、聯邦分裂後の1839年獨立し

て共和制を布いた。國會は一院制で42名より成り、普選が行はれる。現大統領マルチネツズ(M. H. Martinez)は四名の閣僚を以て内閣を組織してゐる。

【財政】 1935年度の豫算は歳入14.5百萬コロン、歳出17.7百萬コロン。歳入は關稅、内國稅を主とし支出は國債費、軍事費等が多い。

【産業】 農業國で耕地は全土の約八割、産物は珈琲を第一とし、シザル麻、煙草、砂糖、バルサムがある。珈琲は同國の重要産物で政府は珈琲保護法なるものを設けて之が獎勵に當つてゐる。36年の産額65千廳、35年58千廳、米國を始め獨逸その他へ多量に輸出されてゐる。家畜は牛454(千頭)、豚230、馬123を有す(32年調)。森林は染料材及マホガニ材等があり、バルサムでは同國は世界の主要供給國となつてゐる。鑛産は、金、銀、石炭、銅、鐵等が僅少なから出る。

【貿易】 1935年の輸出22.8百萬コロン(前年24.0)、輸入21.6(20.5)。輸出は珈琲、シザル麻、バルサム等を主とし、輸入は棉花、鐵器、小麥粉、藥品等が多い。相手國は米國、獨逸を主としその他英國、和蘭、伊太利等。

【金融・通貨】 サルヴアドル中央準備銀行が紙幣を發行す。貨幣單位はコロンで平價でわが1.00309圓に當る。

【交通・通信】 鐵道は0.6千軒、中米諸地へ定期航空

路がある。

【軍備】 初等教育は義務制で小學校1145(32年調)がある。國立大學1。

## ホンチユラス

(REPÚBLICA DE HONDURAS)

【面積・人口】 154千方軒、人口985千人(35年末)。首府テグシガルバ47千人(30年\*)。

【政治】 1821年西班牙より獨立を宣言、共和制を布く。國會は一院制で四十三名より成り、閉會中は「常設委員會」が議會の權能を代行する。現大統領アンチノ(T. C. Andino)は六名の大臣を以て内閣を組織してゐる。

【財政】 1936年度の豫算は歳出入とも11.7百萬レンピラ。主要財源は關稅、專賣益金等。支出は農業及勞働費、國債費、軍事費等が多い。

【産業】 農業及牧畜を主としてゐる。バナ、は同國の重要産物で大西洋岸に多く、米國、英國、和蘭等に多量に輸出される。このほか良質の珈琲、コ、ナツト、煙草等を産す。鑛産は金、銀、銅、鉛、亞鉛等があるが現在は金銀が主として採取されてゐる。林産にはマホガニ材がある。製造工業は麥稈、パナマの帽子製造、煙草製

造等が行はれ、カボン、サンタ・バルバス地方のパナマ帽は高級品として聞ゆ。

【貿易】 1934年度の輸出21.0百萬レンピラ、輸入19.2百萬レンピラ、輸出はバナ、15.8、銀塊 2.9を主とし、輸入は綿織物、鐵製品、藥品等が多い。相手國は米國を最大取引先とし、その他英國、獨逸等である。

【金融・通貨】 ホンチュラス銀行とアトランチダ銀行とが紙幣を發行す。貨幣單位はレンピラ(Lempira)で平價でわが1.00309圓に當る。

【交通・通信】 鐵道は1.4千軒。中米諸國へ定期航空路がある。最近ラ・セイバに短波ラヂオ放送局が設けられた。

【軍備】 陸軍は徴兵制により二十一歳より四十歳まで服役の義務がある。現役在營三ヶ月で36年の兵力1.9千人。飛行機11がある。

【教育】 初等教育は七―十五歳までを義務制とし、小學校944、首府に國立大學一がある。中學校は十六。

## ニカラグア

(REPÚBLICA DE NICARAGUA)

【面積・人口】 128千方軒、人口850千人(35年末)。首府マナグア45千人、レオン24千人。

【政治】 1836年中央アメリカ聯邦の分裂とともにも獨立し共和制を布く。國會は上院(24名)、下院(43名)より成り下院は普選による。大統領はまた内閣の首班でもある。現大統領はソモツア(A. Somoza)。

同國は政治・經濟上米國の支配を受けること多く1916年米國がニカラグア運河開鑿權、海軍根據地を得てよりこの傾向は強まつてゐる。運河開鑿は何分にも莫大な費用を要することゝて著手されてゐないが、最近は米國の一部論者は之が實行の急なるを叫んでゐる。

【財政】 1937年の豫算は歳入出とも3.7百萬コルドバ歳入のうち毎年關稅が五割乃至六割二分を占める。

【産業】 農業を主とする。産物は珈琲を第一とし、次にバナ、甘蔗糖、カ、オ煙草等がある。珈琲は36年の産額16千匁、西部地方に主産し同國輸出總額の五、六割を占める太宗品となつてゐる。林産にはマホガニー材。染料材、藥用樹、野生ゴム等があり僅少の輸出もある。鑛産は金、銀があり主に英・米資本によつて採掘されてゐる。製造工業は手工業的な程度のものに過ぎない。

【貿易】 1935年の輸出5.7百萬コルドバ(出5.2)、輸入5.1(4.6)、輸出は珈琲3.1、バナ、1.2を主とし、輸入は綿製品1.4、鐵及鋼、藥品類などが多い。相手國は米國(出3.2:入2.5)、獨逸、英國等を主とす。

【金融・通貨】 ニカラグア国立銀行が紙幣を発行す。貨幣単位はコルドバ (cordoba) で公定率では1.10コルドバは米國の一弗に當る。

【交通・通信】 鐵道は約 337 軒、航空路は米國の汎アメリカエアウェイ社線がマナグアその他に連絡す。

【軍備】 護國軍 2.3 千人があり、この服役期間は三年とさる。

【教育】 初等教育は義務制で小學校 187 がある。マナグア、レオン、グラナダに大學各一がある。

## コスタ・リカ

(REPÚBLICA DE COSTA RICA)

【面積・人口】 58千方軒、人口578千人(35年末)。首府サン・ホセ58千人、リモン16千人(34年)。

【政治】 西班牙領より獨立後中央アメリカ聯邦に加盟したが分裂後の1871年獨立、共和制を布いた。國會は一院制で43名より成り普選による。現大統領はカストロ (C. Castro) で六名の大臣を以て内閣を組織す。

【財政】 1936年の豫算は歳入 28.5 百萬コロン、歳出 28.4、主要財源は關稅 12、酒類專賣益金 4 などで、支出は國債費、教育費 5、農業及土木費 8 等が多い。

【産業】 農業を主とする。産物は珈琲、バナナ、カ、オを主としその他玉蜀黍、甘蔗糖、煙草等がある。珈琲は36年の産額24千萬、輸出の太宗となつてゐる。家畜は牛399千頭(29年調)がある。森林地は未開部分が多く花梨木、マホガニ材等に富む。鑛産は太平洋岸近くの金、銀がある。製造工業は煙草、チーズ、製材、油蠟製造、製靴等が主に行はれる。

【貿易】 1935年の輸出 49.0 百萬コロン(37.0)、輸入 42.2(37.1)。輸出は珈琲 32、バナナ 9、カ、オ等を主とし、輸入は棉花7、小麥粉3、鑛油、鐵などが多い。相手國は英國(出5.6:入0.6)、米國(出4.6:入4.8)、日本(0.3:1.3)、獨逸等を主とする。

【金融・通貨】 コスタリカ國際銀行が紙幣を発行するが、爲替管理局も爲替取引に當り自己の紙幣を出す。貨幣単位はコロンで平價でわが0.50154圓に當る。

【交通・通信】 鐵道 0.7 千軒、航空路は米國汎アメリカ航空會社線が中米諸地を連絡す。ラヂオ放送局15がある。

【軍備】 常備軍は中米協約により五百人以下と規定されてゐるが32年調では約三百人。

【教育】 初等教育は義務制で小學校 609 がある(36年)。カルタゴ、アラジュエラに専門學校各一がある。

## パナマ

(REPÚBLICA DE PANAMA)

【面積・人口】 84千方料、人口522千人(35年末)。首府パナマ74千人、コロン30千人(30年\*)。

【政治】 コロンビア國の一地方だつたが1903年米國の援助の下に獨立した。この米國の援助は米國がパナマ運河開鑿權を得るのを交換條件として行はれたもので、米國はその利權に對し代價金一千万弗を渡しその後引續き二十五萬弗を年々支拂つてゐる。國會は一院制(32名)で隔年に開會する。現大統領はアロセメナ(D. Arosemena)で六相を以て内閣を組織してゐる。

【財政】 1935年初—36年末の歳入出とも12.6百萬バルボアで、歳入のうちには米國よりのパナマ運河年金43萬バルボアを含む。尙同國の特徴は豫算を二ケ年宛組むことである。

【産業】 農耕地は比較的少なく。産物はバナ、を第一とし、その輸出額は同國の輸出總額の約五、六割を占め、米國を最大の顧客としてゐる。その他産物にカ、オ、椰子實、珈琲、煙草、生ゴム等がある。牧畜は相當盛に行はれ、獸皮は重要輸出品の一となつてゐる。林産

にはマホガニー、その他の用材がある。パナマ灣の眞珠島附近では眞珠が採れ、鼈甲とともにその輸出も多い。鑛産に金がある。

【貿易】 1935年の輸出5.6百萬バルボア輸入15.9百萬バルボア36で36年の輸入19.0。輸出はバナ、が約五割、次いでカ、オ、椰子實、獸皮等。相手國は米國を主とし英國が之に次ぐ。

【金融・通貨】 國內は米國紙幣とパ國の銀貨が流通しパ國には發券銀行がない。貨幣單位はバルボアで米國の銀一弗に同じ。

【其他】 鐵道は約150料、航空路は國內線のほか外國社線が中南米諸地を連絡してゐる。軍備は自國軍の常備はないが、他國の侵略を受けた場合米パ條約で米國が之を保護することになつてゐる。初等教育は七—十五歳までを義務制とし小學校521がある。大學は首府にパナマ國立大學が1ある。

### パナマ運河及パナマ地帯

運河はガツン湖を利用し大西洋及太平洋を結んだもので全長81.1料、ガツン湖の水面は海拔25.5米で、こゝを通過するため船舶は閘門を利用して階段式にこの水面まで押上げられる。閘門は大西洋側のガツン閘門(三段)、太平洋側のペトロミグエル閘門(一段)、ミラフロレス閘



門(二段)がある。全部を通過するに七乃至八時間を要し普通船は一日四十隻まで通過できる。1936年の通過船は5382隻、通過料金23.5百萬弗で年々通過船の数は増加してゐる。

同運河は初め佛人レセツプが水平式で失敗した後を米國が閘門式で成功したもので1904年工事に着手、14年に開通し非公式に使用されたが20年より一般に公開された。運河地帯は運河の兩岸より幅八軒を含む面積1434方軒の帯狀の地で、米國知事が駐在し米國軍隊をおき保護監督に當る。人口は36年6月で29.2千人(軍隊を除く)。この運河開鑿權及地帯使用權に對し米國は先づ一千萬弗を支拂ひ、1913年より36年まで毎年二十五萬宛を拂ひ、36年條約更新とともに今後毎年四十三萬バルボア(一バルボアは一弗)を支拂ふこととなつた。

### キューバ

(REPUBLICA DE CUBA)

【面積・人口】 114千方軒、人口4290千人(35年末)。首府ハバナ550(千人)、カマゲイ133、サンチャゴ104(35年)。

【政治】 1898年米國の後援を得て西班牙領より獨立。

1901年憲法を制定、共和制を布いたが、その後米國勢力の侵入に對する反對運動・争亂が繰り返へされ1937年の革命騒動では遂に革命派が政權を握つたので米國も之を承認することとなつて最近は平靜を得てゐる。

國會は36年の改正憲法によつて上院(36名)、下院(126名)を有し下院は普選による(男女二十一歳以上有權)。現大統領はブルウ(F. L. Bru)で内閣の首班として十二名を以て内閣を組織する。

【財政】 1936年度の豫算は歳入73.2百萬弗、歳出73.1百萬弗。主要財源は關稅27、地租22等で、支出は軍事費18、文部費11、國債費7等が多い。

【産業】 氣候溫暖、地味肥沃よく農業に適し、小島の割に農産物は豊富である。産物は同島の二大産物たる甘蔗、煙草のほか珈琲、カ、オ、果實、馬鈴薯等がある。甘蔗糖は從來世界一の産額を有したが、近年は印度に次ぐ世界二位となつた。之は糖價維持のため國際協定に加はり生産制限を行つてゐるため昨年例のチャドボーン協定が満期となり、五月決定された新協定によると今後の年産割當は94萬噸となつてゐる。生産の八割近くが輸出され、また輸出の約六割が米國向となつてゐる。

	1935年	36年	1935年	36年
甘蔗糖	2 477	2 825	鐵礦	228
葉煙草	19.3	19.1		(單位 千噸)

煙草は良質を以て聞え同島の西北部、ヴェルタ・アジヤボ地方が主産地である。産額の大部分が輸出される。家畜は牛4317(千頭)、豚591、緬羊102、馬586等がある(以上33年調)。林産にはマホガニ、杉、ダイウツド等がありマホガニ材は輸出される。鑛産には鐵鑛、銅、マンガ、鑛油等があり鐵鑛は大部分米國資本により採掘される。工業は前記製糖、煙草製造のほかタイル製造、木工業、製紙業が行はれる。

〔貿易〕

	1934年	35年	36年
輸出.....	107.7	128.0	154.8(百萬弗)
輸入.....	73.4	95.5	103.2

輸出は粗糖74、精糖14、糖蜜8、葉煙草12等を主とし、輸入は棉花及綿製品11、化學製品12、食料品27等が多い。

相手國は米國(出 02 : 入56)、英國(14 : 4)、獨逸(2 : 4)等を主とす。(以上 5年)。

〔金融・通貨〕 米國系銀行が金融の中樞を占む。貨幣單位はペソで米國の弗と等價。

〔交通・通信〕 鐵道は4.8千軒。航空路は國內線及外國社線の連絡がある。ラヂオ放送局は54がある。

〔軍備〕 陸軍は常備兵力16千人で、海軍は巡洋艦2、

砲艦5等を有し、空軍は兵員116人を有す。

〔教育〕 初等教育は義務制で小學校3816を有す。大學はハヴアナ大學一がある。

## ハイチ

(RÉPUBLIQUE D'HAÏTI)

〔面積・人口〕 26千方軒、人口3000千人(36年初)。首府ポルト・オ・フランス115千人。

〔政治・財政〕 1804年佛國領より獨立したが、その後國內の擾亂が絶えず最近漸く平靜を得た。國會は上院(20名)、下院(36名)があり、現大統領ヴインセント(S. Vincent)が首班となつて内閣を組織してゐる。同國は1915年米國と締結した保護條約で米國の援助を受けてゐたが同條約は36年滿期となつたので今後は米人顧問をおき主に財政上の指導を受ける筈。

1935年度の歳入は6.9百萬弗、歳出7.3百萬弗。

〔産業〕 農業國で産物は珈琲を第一としその他カ、オ、棉花、シザル麻、煙草等がある。珈琲は良質を以て聞え大部分が輸出される。35年の輸出高36千萬。林産物には染料材たるログウッドその他があり、主要輸出品の一となつてゐる。牧畜も近年獎勵されてゐる。鑛物は金、銀、銅、鐵等の埋藏があるがまだ充分開發されてゐな

い。ラム酒、火酒等が製造されてゐるが輸出とまでは行かない。

【貿易】 1936年の輸出9.6百萬弗、輸入7.6百萬弗、輸出は珈琲が大部分を占めその他棉花、ログウッド等、輸入は綿製品、食料品、機械器具等が多い。相手國は米國、佛國、英國等。

【金融・通貨】 ハイチ國民銀行が紙幣を發行す。貨幣單位はグールド (Gourde) で米國貨の二十仙に等しい。

【其他】 鐵道 259 軒。航空路は米國汎アメリカエアウェイ社線が各地を連絡す。軍備については一時米國駐屯軍が同國保護の任に當つてゐたが撤退後、自國保安隊 2.8千人がおかれた。初等教育は義務制で小學校 1060がある。専門學校は四。

## ドミニカ

(REPÚBLICA DOMINICANA)

【面積・人口】 49千方軒、人口1490千人(36年末)。首府シウダッド・ツルチロ (舊名サント・ドミンゴ) 71千人(35年\*)。

【政治】 1821年西班牙より獨立したが、その後一時ハイチ人に占據された事があり、亦米國海軍に占據された

ことがある。現在は大統領ツルジロ (Trujillo Molina) の下に上院(12名)、下院(33名)を有し、内閣は大統領を首班に十名の大臣を以て成る。

【財政】 1935年度の豫算は歳入10.5百萬弗、歳出10.8百萬弗、主要財源は關稅及内國稅にて支出は軍事費、文部費、土木費等が多い。

【産業】 農業を主とし産物は甘蔗を第一としその他カ、オ、珈琲、煙草等がある。甘蔗糖の産額は 1936年度 429千噸、(前年426千噸)で大部分が米國資本によつて經營されて居り、産額の約九割以上が輸出される。カ、オ産額は35年18千噸。鑛産は金、銅、鐵、石炭、石油等があり、最近政府は法律をもうけて鑛業開發に乗り出すこととなつた。

【貿易】 1935年の輸出15.5百萬弗(前年12.9)、輸入9.8(10.6)、輸出は粗糖9.5、カ、オ2.1等を主とし、輸入は綿製品、麻袋、化學製品等が多い。相手國は英國(出7.3 : 入0.7)、米國(4.2 : 4.7)佛國等を主とする。

【金融・通貨】 發券銀行と云ふものはなく米國紙幣が流通す。貨幣單位は古くより米國の弗を用ゐ、別に自國のペソ銀貨があるが之は5ペソ=1弗の割合としてゐる。

【交通・通信】 鐵道は 238 軒。航空路は米國の汎アメ

リカ・エア・ウエイ社線がキューバ、南米諸地へ連絡す。  
 【軍備】 陸軍は義勇軍なるもの約三千人がある。沿岸警備用として巡邏船二、武装輸送船一等がある。  
 【教育】 初等教育は義務制で小学校126、大學1のほか初等小學と稱するもの約千三百がある。

## ヴェネズエラ

(ESTADOS UNIDOS DE VENEZUELA)

【面積・人口】 912千方料、人口3414千人(35年末)。首府カラカス41千人、マラカイボ105千人。  
 【政治】 コロンブスのアメリカ発見後間もなく西班牙領となり十九世紀の初頃コロンビアとともに西領より獨立所謂大コロンビア國を形成したが1830年之より分離獨立聯邦共和制を布いた。現在は大統領コントレラス(L. Contreras)の下に上院(40名)、下院(85名)を有す。  
 【財政】 1936年度の歳入は180百萬ボリヴア、歳出216百萬ボリヴア。主要財源は關稅17、礦業稅58、煙草稅15等で、支出は土木事業費45、内務省費37、軍事費31等が多い。  
 【産業】 農牧が主として行はれるが石油國としても有名である。人口の五分之一が農業に従事し産物は珈琲を

始めカ、オ、甘蔗、小麥、煙草、棉花等がある。珈琲産額は世界四位で生産の九割以上が主に歐洲方面へ輸出される。カ、オは品質甚だ優良である。家畜は牛2.1(百萬頭)、山羊2.2、豚0.5等を有し獸皮の輸出もある。

	1935年	36年	1935年	36年
珈琲.....	63.6	91.6	原油.....	21 990 22 945
カ、オ....	13.1	...	金(匁)...	3.1 3.4
			(單位 千匁)	

林産にはパラタゴム、マホガニ材等があり、水産品に眞珠がある。礦産は相當に豊富で原油を始め、金、銀、銅、アスファルト、石棉、石炭、マンガン等がある。原油の産額は米國、ソ聯につぐ世界三位で、マラカイボ湖岸を主産地とし英國のダッチシエル社、米國のスタンダード社が採油權を握り、大部分が原油のまま輸出されるがその輸出量は流石の米國を凌いで世界第一である。製造工業は綿紡績、製革、硝子製造等が行はれるがまだ十分に發達してゐない。

【貿易】 1935年の輸出712百萬ボリヴア(前年672)、輸入225(同160)。輸出は原油594、揮發油19、金14等を主とし、輸入は機械器具、小麥粉、米等が多い。相手國は米國(出114:入100)、キユラサオ(276:1)、英國(19:60)獨逸(11:19)、佛國等を主とし、キユラサオへは原油が多く出る。

【金融・通貨】 ヲエネズエラ銀行が紙幣を發行す。貨幣單位はボリヴァ(Bolivar)で平價でわが 0.38710圓に當る。

【交通・通信】 鐵道 973軒、航空路は國內線及外國會社線があり各地を連絡す。無線局9、ラヂオ放送局 11がある。

【軍備】 陸軍は徴兵制で二十一歳より四十五歳まで服役義務がある。常備兵力は約一萬。海軍にはスループ2、砲艦3がある。

【教育】 初等教育は義務制で小學校 2180がある。大學はロス・アンデス大學、中央大學の二がある。

## コロンビア

(LA REPÚBLICA DE COLOMBIA)

【面積・人口】 1150千方軒、人口 8665千人 (36年6月末)。首府ボゴタ 350(千人)、メテリン 150、バランキリヤ 150(以上36年)。

【政治・財政】 1891年西班牙領より獨立し、所謂大コロンビア國を形成したが、その後ヴェネズエラ、エクアドル、パナマの各州が分離し今日に至つた。現大統領ロペツツ(A. Lopez)の下に上院(56名)、下院(119名)あり

大統領が首班となり九名の大臣を以て内閣を組織してゐる。尙大臣五名及び經濟關係代表者より成る國家經濟會議なるものがある。

1936年の豫算は歳入68.7百萬ペソ、歳出68.7。支出は國債費、軍事費、内務費、土木費、教育費が多い。

【産業】 土地肥沃だが未耕の地がまだ多い。産物は珈琲を始めバナ、煙草、棉花、甘蔗等があり、珈琲は質良く産額はブラジルにつぐ世界第二位を占め大部分が輸出されるがその輸出の約五割は米國向である。バナは英國へ多く送られる。家畜は牛8.1(百萬頭)、豚1.6、山羊0.9、山羊0.5、馬0.9等を有す(34年)。

	1935年	36年	1935年	36年
珈琲.....	252	224	金(噸).....	10.2
原油.....	2 452	2 613	白金(噸)...	1.7
			(單位 千噸)	1.2

森林地は全土の五割を占め杉材、染料用材、ゴム樹等に富むがまだ輸出するまでには至らない。

礦産はやゝ豊富で金を始め白金、銀、原油、銅、エメラルド等がある。金は各地に産するがアンチオクイア、チヨコ等を主産地とす。エメラルドは世界有數の産額を有し同國政府は之を專賣乃至統制し優良品輸出に努めてゐる。主産地はムゾ、チヴォール等。原油は北部に産出する。工業は煙草製造、織物、製革等が行はれるが、まだ

手工業的の域を脱しない。

【貿易】 1936年の輸出137百萬金ペソ(前年124)、輸入120(107)。輸出は珈琲79、原油19、バナ、9等を主とし、輸入は織物27、金屬製品11、農産品6等が多い。

相手國は米國(出95:入49)、獨逸(23:27)、英國(2:23)佛國、カナダ等を主とす。

【金融・通貨】 共和國銀行が紙幣を發行す。貨幣單位は金ペソで平價でわが1.95263圓に當る。また金ペソに對し紙幣ペソが用ひられるが兩者比率は時により變動する。

【交通・通信】 鐵道は3.5千軒、航空路はスカドタ社線5.5千軒のほか諸國よりの定期線がある。アメリカ諸國へ無線電話が通ず。

【軍備】 陸軍は徴兵制で現役は一年。1935年の兵力は11.7千人。空軍は飛行機十五。海軍は驅逐艦2、海洋砲艦1、河川砲艦4等がある。

【教育】 初等教育は公費で行ふが義務制でなく、小學校3403がある。大學はボゴダのほかに各地に四校ある。

## エクアドル

(REPÚBLICA DEL ECUADOR)

【面積・人口】 451千方軒(カラパゴス諸島共)、人口

2702千人(35年末)。首府キトー115千人、グアヤキル137千人。

【政治・財政】 十六世紀中頃西班牙の支配下におかれ後之より獨立して大コロンビア國に加盟したが、1830年分離獨立し、共和制を布ひた。國會は上院(32名)、下院(56名)を有するが、目下新憲法草案中で今後改革を見る筈。大統領も未定で現在假執權者パエツ(F. Piez)が之に當つてゐる。1936年の豫算は歳出入とも80.1百萬スクレ。

【産業】 農業を主とす。産物はカ、オを始め珈琲、砂糖、象牙椰子、米、棉花、マングローヴ樹皮、ゴム等がある。カ、オは35年産額19千匁で、その大部分が輸出され輸出品の太宗となつてゐる。森林も多く、染料材、シンコナ樹等があり、また野生ゴム樹に富むが今は東洋の栽培ゴムの敵ではない。鑛産は金、原油を主としその他銅、鐵、鉛等がある。36年の金産1.8匁、原油277千匁。原油は主要輸出品の一となつてゐる。工業はパナマ帽又はジビヤパ帽の名で呼ばれる帽子製造のほか製粉、紡織等が行はれる。

【貿易】 1936年の輸出146百萬スクレ(前年113)、輸入118(97)。輸出はカ、オ、原油、珈琲等を主とし、輸入は綿製品、飲食料品、機械類等が多い。相手國は米國。

(出67 : 入34)、獨逸(21 : 25)、英國(5 : 11)等を主とす。

【金融・通貨】 エクアドル中央銀行が紙幣を發行す。貨幣單位は金スクレで平價でわが0.40123圓に當る。

【交通】 鐵道は1.2千料、航空路は米國の定期線が各地を連絡す。

【軍備】 1935年から徴兵制が實施され同年7.7千人の兵力を有す。海軍は小艦二、三隻があるに過ぎない。

【教育】 初等教育は義務制で小學校2688がある(36年)大學はキトー、ガヤキル、シウエンカに各一ある。

## ペルー

(REPUBLICA DEL PERÚ)

【面積・人口】 1249千方料、6900千人(35年末)。首府リマ285千人、カリヤオ64千人。

【政治・財政】 1821年西班牙領より獨立す。國會は上院(40名)、下院(140名)より成り、大統領ベナヴィデス(O. R. Benavides)が首班となり九名の大臣を以て内閣を組織す。尙、經濟諮問會議(50名)は大統領の諮問機關として設置されたもの。1936年の豫算は歳出入とも139百萬ソール、主要財源は關稅54。

【産業】 農業を主とし國民の約八割が之に従事す。産

物は棉花を第一とし次いで砂糖、珈琲、カ、オ、小麥、米等がある。棉花は産額の九割以上を出し同國輸出品の太宗となつてゐる。家畜は緬羊1200(千頭)、アルパカ650、リヤマ650、牛1850等を有し羊毛、アルパカ毛等の産がある。

	1935年	36年		1935年	36年
棉花	85	81	銅	29	...
甘蔗糖	399	425	原油	2 253	2 328
海鳥糞	128	...	金(鎰)	3.5	3.4
ヴァナヂウム	0.7	...	銀(マ)	532	582

林産には野生ゴム、染料用材、コカ樹(コカイン原料)等がありコカインは主に輸出される。鳥糞は同國の特産で世界一の産額がある。

鑛産はかなり豊富で銅、原油を始め金、銀、アンチモニー、ヴァナヂウム等があり、銅、銀(世界三)は中部海岸寄、石油は北部海岸を主産地とす。ヴァナヂウムは嘗つて世界一の産額を有したが最近は著減した。工業はまだ見るべきものがない。

【貿易】 1936年の輸出305百萬ソール(前年309)、輸入178(175)。輸出は棉花91、原油78、銅棒43、石油製品41を主とし、輸入は機械器具46、飲食料31、金屬類21、棉花16等が多い。相手國は米國(出65 : 入62)、和蘭(76 : 2)獨逸(41 : 36)、英國(35 : 26)等を主とす。

【金融・通貨】ペルー準備銀行が紙幣を発行す。貨幣単位はソール(sol)で平價でわが0.56169圓に當る。

【交通・通信】鐵道は4.5千料。航空路は陸、海軍航空隊の經營線3.5千料のほか外國社線が連絡す。ラヂオ放送局10がある。

【軍備】陸軍は徴兵制により現役は二年。1935年の兵力は15千人。海軍は巡洋艦2、驅逐艦2、潜水艦4、等を有す。空軍は陸海軍に分屬す。

【教育】初等教育は義務制で小學校5000がある。大學は首府に一、地方に五ある。

## ボリヴィア

(REPÚBLICA BOLIVIANA)

【面積・人口】1333千方料、人口3171千人(35年)。ラ・パス150(千人)、スクレ26、コチャバンバ49(以上32年)、ラパスは政廳所在地、スクレは法律上の首府。

【政治・財政】十六世紀の中頃西班牙の支配に屬したが、1824年之より獨立し共和國となる。現在國會は上院(16名)、下院(70名)より成り、兩院とも男女二十一歳以上有權の普選による。大統領トーロ(D. Toro)が首班となり七名を以て内閣を組織してゐる。尙、諮問機關に國家經濟會議なるものがある。

またグランチャコ地方をめぐるパラグアイとの永き紛争は35年南米諸國及び國際聯盟の調停により解決を見、36年8月より兩國の外交關係は復活、舊交を温むることゝなつた。

豫算は36年歳入86百萬ボリヴィアノ、歳出130。支出は國債費、教育費等が多い。

【産業】農産物は馬鈴薯、珈琲、カ、オ、米等があるが概して農業の開発は遅れてゐる。牧畜は主要産業の一で牛約1.9(百萬頭)、緬羊5.6、リヤマ1.9等がある(31年)。林産は野生ゴム、規那、コカ等があり、ゴムは輸出される。

	1935年	36年	1935年	36年
錫鑛.....	25.4	24.5	銀(匁)...	221 318
アンチモニ...	3.7	6.5	(單位 千匁)	

鑛業は同國の最重要産業で産物に錫鑛、銀、銅、鉛、亜鉛、アンチモニ、タングステン、原油等がある。錫鑛はチ、カ、湖の南方即ちオルロ地方を中心とし産額は英領馬來につぐ世界二位を有し、その大部分が輸出されるが仕向先は英國である。最近は精鍊所も米國資本で建設中の由。アンチモニは支那につぐ世界二位の産額を有す。

【貿易】1935年の輸出149百萬ボリヴィアノ(前年127)輸入71(73)。輸出は錫鑛が九割内外を占め、その他銀、鉛、タングステン等。輸入は砂糖、小麥粉、石炭、石油等



を主とす。相手國は米國、英國、獨逸、アルゼンチン等。

【金融・通貨】 ボリヴィア中央銀行が紙幣を發行す。貨幣單位はボリヴィアノ (boliviano) で、平價でわが0.73224圓に當る。また36年末で50ボリヴィアノ=1磅であつた。

【交通】 鐵道は2.2千軒、航空路はアエロ・ロイド社線2.9千軒のほか外國の連絡線がある。

【軍備】 陸軍は徴兵制で現役在營は二ケ年。常備兵力は約3.6千人。航空隊一がある。

【教育】 初等教育は義務制で小學校 2033 がある。ラ・パス及びスクレに大學各一がある。

## アルゼンチン

(REPÚBLICA ARGENTINA)

【面積・人口】 2802千方軒、人口12402千人(36年初)。首府ブエノスアイレス2268千人、ロザリオ508千人(以上36年)、コルドバ309千人(35年)。移入民は35年41千人(前年33千人)。

【政治】 1816年西班牙領より獨立を宣したがその後内亂が續出し1853年漸く平靜を得たので憲法を制定、共和制を布いた。現在は大統領ユスト (A. P. Justo) の下に

上院(30名)、下院(158名)を有し、大統領が首班となり入名を以て内閣を組織してゐる。

【財政】 1936年の歳入は1165百萬紙幣ペソ、歳出 1164 主要財源は關稅313、内國稅150、所得稅83等で、支出は行政費403、國債費264、教育費142等が多い。

【産業】 農業及牧畜國として世界的に知られてゐる。農産物は麥類、玉蜀黍、亞麻仁、棉花、甘蔗、マテ茶、葡萄酒等がある。小麥はブエノスアイレス州、コルドバ州等を主産地とし産額は世界六位だがその大半を輸出し輸出量はカナダ、濠洲につぐ世界三位を占めてゐる。玉蜀黍もブエノスアイレス州を主産地とし、産額は米國につぐ世界二位、生産の九割以上が輸出され、その輸出量は世界一を占め家畜飼料として重要性を有してゐる。亞麻仁産額は世界一でその大部分が輸出される。

	1935年	36年	1935年	36年
小麥.....	3 838	6 745	亞麻仁...	1 425 1 850
大麥.....	460	650	*葡萄酒...	5 750 ...
燕麥.....	520	792	煙草...	15 ...
玉蜀黍...	9 650	9 440	羊毛.....	159 170

(單位 千噸 \*印千頭)

家畜は牛 30.9百萬、種羊 39.3百萬(以上34年)、豚約3.8百萬、山羊 5.6百萬を有し、羊毛の産額は濠洲、米國につぐ世界三位で大部分が輸出される。肉類、バター等の産も多く英國を最大顧客として輸出される。

鑛産は金、銀、銅、タングステン鑛、原油等があるが餘り重要性はない。工業は冷凍肉製造と次につく製粉業を同國の二大工業とし、その他製糖、綿紡織、醸造等が行はれるが、製肉工業の如きブエノスアイレスに一日に牛五千頭、羊一萬頭の處理能力を有する大工場がある。

#### 【貿易】

	1934年	35年	36年
輸出………	I 438	I 569	I 652(百萬紙幣ペソ)
輸入………	I 110	I 175	I 117

輸出は玉蜀黍44、亞麻仁211、冷凍肉212、小麥168、羊毛51を主とし、輸入は織物 273、燃料 183、鐵及同製品 120、機械類104等が多い。相手國は英國(出525:入239)米國(174:170)、獨逸(93:108)、白耳義(108:74)等を主とす(以上36年)。

【金融・通貨】 アルゼンチン中央銀行が紙幣を發行す貨幣單位は金ペソを基本とし國內では紙幣ペソを用ゐ(1紙幣ペソ=0.44金ペソ)てゐたが現在は凡て紙幣ペソを用ゐてゐる。36年の公定率では15紙幣ペソ=1磅であつた。

【交通・通信】 鐵道41千軒(35年末)。航空路はアエロ・ポスタ社線1.9千軒のほか歐洲、米國等よりの連絡線がある。ラヂオ放送局40。對外無線電話が歐米に通ず。

【軍備】 陸軍は民兵制で二十より四十五歳まで服役義務があり、現役在營は一年。36年の兵力は32千人。空軍は飛行機103を有す。海軍は戦艦 2、巡洋艦 4、沿岸防備艦 2、驅逐艦 4、潜水艦 3等を有す。

【教育】 初等教育は六歳より十四歳までを義務制とし小學校 12354(35年)がある。大學は首府及各地あはせて六校ある。

## ブラジル

(ESTADOS UNIDOS DO BRASIL)

【面積・人口】 8525 千方軒、人口 47795千人(35年)。首府リオ・デ・ジヤネイロ1701(千人)、サン・パウロ 1151、ペルナンブコ(レシフエ)473、サン・サルバドル364(以上35年)。

同國は有名な移民國として知られ年々九〇萬近くの外國移民が入國してゐたが1934年の新憲法によりその數は著しく制限された。即ち「毎年の入國者は最近五〇年間に同國に定著した當該入國者總數の二%以下」とされるもので昨年勞働省から發表された37年度の各國移民割當數は伊太利人27044、ポルトガル人22956、西班牙人11536、日本人3546、獨逸人3099(以下略)であつた。

【政治】十六世紀の初頭ポルトガルの支配に属したがその後南米各地の革命運動に刺戟され1889年獨立して共和制を布いた。最近はこの國にもフアシヨの風が吹き始め昨年十一月突如起つたクーデターにより大統領ヴァルガス(D. Vargas)の獨裁制が樹立された。その原因は數年前より行はれた左右兩派抗爭の爆發であつて、このクーデターにより左翼は徹底的に抑壓され、之を動機として舊憲法は廢棄され新憲法の公布となつた。その要旨とするところは(一)國會は下院及び聯邦審議會より成り、且つ大統領の制肘を受け、(二)新に聯邦經濟諮問會議が設けられ會議への代表は各同數の勞資代表よりなり、議會の經濟關係議案に對し發言權を有し、(三)審議會及諮問會の議長は大統領が任命する等で、之により大統領の權限は著しく擴大され、組合國家體制への第一歩が樹立された譯である。

【財政】1937年の豫算は歳入3827百萬紙幣ミルレイ、歳出3388。主要財源は關稅で歳入の約三分の一、支出は大藏省費、軍事費、遞信費等が多い。

【産業】農業を主とし、特に珈琲の栽培國として世界的に知らる。産物は珈琲のほかカ、オ、玉蜀黍、煙草、棉花、甘蔗糖、オレンジなどがある。珈琲はサン・パウロ州、ミナス州等を主産地とし産額は世界一でその六割

内外が輸出される。近年價格維持のため生産制限等を行つてきたが、之が爲め却つて安價な他國珈琲に販路を奪はれる結果となり、最近は輸出稅の引下げその他の方策を講じ市場奪回に腐心してゐる。

	1935年	36年		1935年	36年
珈琲……	I 052	I 302	玉蜀黍……	5 440	…
カ、オ…	127	…	棉花……	375	392
甘蔗糖…	I 171	I 000	葉煙草…	97	…
			(單位 千噸)		

カ、オはアフリカ黄金海岸につき世界第二位。玉蜀黍は米國アルゼンチンにつき世界第三位、棉花は世界五位で最近わが日本も同國から相當の棉花を買付けてゐる。煙草は英印、ソ聯につき世界第三。このほかマテ茶、マンデイオカ等があるが同國は穀類の産額が甚だしく小麦の如き年々大量に輸入してゐる。家畜は牛42.5(百萬頭)、豚21.6、緬羊10.7、山羊5.2等を有す(32年調)。

森林地は全土の約五割を占めゴム樹、用材に富み、ゴムは品質優良だが産額は年々減少してゐる。礦産に金、マンガン、鐵礦、石炭、金剛石があり、マンガンの36年の産額は167千噸(前年61千噸)で世界六位。工業は綿紡織を第一とし、その他製糖、製紙、煙草製造等が行はる。

【貿易】

	1934年	35年	36年
輸出……	3 479	4 104	4 895(百萬紙ミルレイ)
輸入……	2 503	3 856	4 269

輸出は珈琲2231、棉花930、カ、オ258、獸皮145、等を主とし、輸入は機械類731、小麥及小麥粉663、自動車200、石炭及炭灰167等が多い。相手國は米國(出1617:入898)獨逸(680:454)、英國(378:478)、アルゼンチン(202:499)等を主とす(以上36年)。

【金融・通貨】 ブラジル銀行が紙幣を發行す。貨幣單位は對外關係には金ミルレイス、國內取引には紙幣ミルレイスを用ゐたが1933年より凡て紙幣ミルレイスとした(但し金・紙の比率は1金ミルレイス=8紙幣ミルレイス)。

【交通・通信】 鐵道は32千軒(35年末)。航空路はコンドール社及び其他三社線14.1千軒と外國社線が連絡してゐる。米國に無線電話が通ず。

【軍備】 陸軍は徴兵制で二十一より四十四歳まで服役義務があり、現役在營は一年。1935年の兵力は79千人、空軍は飛行機60を有す。海軍は戰艦<sup>6</sup>、裝甲巡洋艦2、驅逐艦<sup>6</sup>、潜水艦1等がある。

【教育】 初等教育は34年の憲法で全般的に普及せしめることになつてゐるが未だ充分に行はれない。小學校は33049(31年調)。大學は首府に官立一、地方に私立二。

## チリー

(REPÚBLICA DE CHILE)

【面積・人口】 742千方軒、人口 4508千人(35年末)。首府サンチャゴ702千人(32年)、ヴァルパライソ193千人、コンセプション78千人(30年)。

【政治】 十六世紀の初頭スペインの支配に屬したが1811年之より獨立した。併しその後内紛絶えず1832年漸く平定を得て憲法を制定、共和制を布いた。現在は大統領アレサンドリ(A. Alessandri)の下に上院(45名)、下院(143名)を有し、いづれも普選が行はれ、また大統領が首班となつて内閣を組織してゐる。

【財政】 1937年の豫算は歳入出とも1446百萬ペソ、主要財源は關稅で、支出は國防費、内務省費、文部省費等が多い。

【産業】 農業は國の中央部を主とし、産物に麥類、玉蜀黍、馬鈴薯、煙草、葡萄酒等があり、葡萄酒は品質優良の評がある。家畜は牛2.5百萬(35年)、綿羊6.3百萬(30年)等があり、羊毛は産額の七、八割が輸出される。森林地は全土の二割七分を占め南部に多く、赤檀等の用材に富む。

	1935年	36年	1935年	36年
羊毛.....	11.3	...	鐵鑛.....	849
硝石.....	1 220	1 300	金(噸).....	8.3
銅.....	259	245	銀(噸).....	40
			(單位 千噸)	45

鑛業は同國第一の産業で、北部地方が鑛業地帯となつてゐる。産物は二大産物たる銅、硝石を始め金、銀、鐵鑛、マンガン、石炭、硫黄等がある。銅の産額は米國につぐ世界二位、チュキカマタを主産地とし、その大部分が輸出される。硝石(硝酸曹達)は同國の特産で産額は世界一、アタカマ沙漠を主産地とし販賣は政府によつて統制されてゐる。産額の大部分を輸出しその大半は米國向になつてゐる。また硝石の副産物の沃度は世界需要の九割を供給してゐる。工業は棉紡織、毛織、製革、製鐵、製紙等

【貿易】 1936年の輸出562百萬ペソ(前年473)、輸入347(304)。輸出は銅214、硝石及沃度158、果實38、羊毛25、を主とし、輸入は織物74、機械類53、化學製品43、鐵及同製品 19等が多い。相手國は米國(出109:入88)、獨逸(54:100)、英國(92:45)、ペルー、伊太利等を主とす(以上36年)。

【金融・通貨】 チリー中央銀行が紙幣を發行す。貨幣單位は金ペソ(peso oro)で平價でわが0.24408圓に當るが、最近の對外相場は低落してゐる。

【交通・通信】 鐵道は 8.6千軒。航空路はチリー航空隊經營の2・3千軒がある。無電局10、主要放送局3がある

【軍備】 陸軍は民兵制で二十より四十五歳まで服役義務がある。現役在營は一年半、1936年の兵力は17.4千人。空軍は飛行機210(36年)を有す。海軍は戰艦1、巡洋艦3、驅逐艦11、潜水艦 9 を有す。

【教育】 初等教育は七より十五歳までを義務制とし、小學校4345がある(35年)。大學は首府に三、地方に一校ある。

## パラグアイ

(REPÚBLICA DEL PARAGUAY)

【面積・人口】 458千方軒、人口927千人(35年末)。首府アスンシヨン97千人、ヴィラリカ36千人(35年末)。

【政治】 1811年スペインより獨立しその後1844年憲法を制定し共和制を布く。最近の政情は安定を缺き、一昨年(36年)のフランコ革命に續いて昨夏(37年)再び革命起りパイヴアを新大統領とする新政權が樹立された。革命の原因は例のチャコ停戰協定その他に對するフランコ大統領の軟弱なる態度を陸海軍側が憤慨して立つたもので、一種の軍事革命である。チャコ紛争については前回

記載の通り1935年6月ボリヴィアと和解成り、36年6月から兩國の外交關係は舊體に復したものである。國會は上院(20名)、下院(40名)があるが、一昨年(35年)から停會のまゝである。

【財政】 1934年度の歳入10.9百萬金ペソ、歳出 .7。財源は關稅を主とし、支出は陸海軍費、國債費等が多い。

【産業】 農業、畜産にも適してゐる。産物は同國特有のマテ茶に、煙草、米、玉蜀黍、棉花、オレンジ等の果實がある。マテ茶は野生で香氣強く、年産約四千噸、主要輸出品の一である。家畜は牛約四百萬頭があり肉製品、獸皮等の産もある。用材にも富み、ケブラコ樹及びその樹皮より採るタンニン劑は主要輸出品である。

鑛産に鐵鑛、マンガン、銅等があり、製造工業には製糖、レース織などが見られる。

【貿易】 1935年の輸出11.4百萬金ペソ(前年12.4)、輸入11.6(11.3)。輸出は獸皮、肉製品、マテ茶、タンニン劑等を主とし、輸入は綿製品、飲食料品、船車等が多い。相手國はアルゼンチン(出3.6:入5.9)を第一としその他米國、英國、日本等がある。

【金融・通貨】 政府系銀行及び英米系銀が活動する。貨幣單位は金ペソだが國內的には紙幣ペソを用ひ、兩者の比率を定めてゐるが時に變動する(36年は金ペソ=

79.5紙幣ペソ)。

【交通・通信】 鐵道は2.9千軒、航空路はアスンシオンとブラジル首府を結ぶ線(ブラジル經營)がある。無線電信局5。

【軍備】 平時は約三千の常備軍があるが戰時には徴兵制を布き、十八より四十五歳までの者を徵集する。海軍は砲艦2、警備船3がある。

【教育】 初等教育は義務制で小學校1402(35年)がある。國立大學一、中等學校六等がある。

## ウルグアイ

(REPÚBLICA ORIENTAL DEL URUGUAY)

【面積・人口】 187千方軒、人口2040千人(36年初)。首府モンテヴィデオ674千人、パイサンス31千人(36年6月末)。

【政治】 1825年ブラジル領より獨立し同30年憲法を制定、共和制を布いた。現在は大統領テラ(G. Terra)の下に上院(30名)、下院(99名)を有し、男女十八歳以上有權の普選が行はれる。また大統領が首班となり九名を以て内閣を組織してゐる。

【財政】 1936年の豫算は歳入80.9百萬金ペソ、歳出

80.6。財源は間接税35、直接税17を主とし、支出は國債費、國防費、内務省費が多い。

【産業】 牧畜を主とし、牧畜地は全土の六割に及び、農耕地は僅かに七分である。産物は亞麻仁、小麥、玉蜀黍、煙草、果實、葡萄酒、米等があり、亞麻仁はアルゼンチン、米國、印度につき世界四位、その大部分が輸出される。小麥も年産の約三割が輸出される。家畜は牛7.1(百萬)種羊20.6、豚0.3、馬0.6等(以上30年調)を有し、羊毛の産額は世界六位を占め、年産の九割内外が輸出され、輸出品の太宗となつてゐる。

	1935年	36年	1935年	36年
亞麻仁	76	125	羊毛	50.8
				57.2
				(單位 千噸)

肉類、牛皮の産も多く、之等は主要輸出品となつてゐる。鐵産は北部地方に見られ、銀、銅、マンガン、鐵等があるが、まだ充分に開發されてゐない。工業は織布、製革、靴製造などが行はれ、電力事業は國營となつてゐる。

【貿易】 1936年の輸出90.3百萬ペソ(前年95.4)、輸入65.9(59.9)。輸出は羊毛42、獸肉類16、獸皮11、亞麻子5.3、小麥4.8を主とし、輸入は礦油、砂糖、石炭、マチ茶等。相手國は英國(出23:入12)、米國(14:9)、獨逸(10:6)、アルゼンチン(10:3)、日本(6:3)等を主とす

(以上36年)。

【金融・通貨】 共和國銀行が紙幣を發行す。貨幣單位は金ペソ(Peso oro)で平價でわが32.07457圓に當る。併しペソの對外價值は最近低落してゐる。

【交通・通信】 鐵道は2.7千料。航空路は外國社線によつて中南北米諸地及び歐洲へ連絡してゐる。ラヂオ放送局55がある。

【軍備】 陸軍は常備軍と護國軍とがある。常備軍は志願制で36年の兵力7.5千人、航空機12、護國軍は戰時に動員され兵員約十萬。海軍は水雷艇1、巡邏船3、飛行艇31を有す。

【教育】 初等教育は義務制、小學校1529(35年)がある。大學はモンテヴィデオに一枚ある。

### 國際共同統治地

タンチール 阿弗利加モロツコの北端にある面積0.6千方料、人口約六萬の小地帯で、1923年のタンチール條令に基き非武装、永久中立地となつてゐる。同地の立法權は條令關係國からの委員二十七名より成る共同議會にあり、行政權は西班牙、佛國、英國、伊太利の各行政官にあり、之等のうち一人が執政者、他が顧問となり、各

自毎年之を交替する。たゞ土著回教徒に對してはサルタンが統治する。産物は小麦、大麥があり、漁業が行はれる。

**ニューヘブライス諸島** ニューカレドニア島の近くにあり面積12千方料、人口約六萬。1906年の協定により英・佛が共同で統治することゝなつてゐる。産物に甘蔗、バナナ、熱帯性果實がある。

## 南極地方

(ANTARCTIC REGION)

面積1300.3千方料、うち陸地が1300千方料、他が島嶼と見られてゐる。1774年英人クックが初めて同地に足跡を印して以來英人六、米人二、邦人一、諾威人一により探險が試みられこのうち極地に達したのは諾威人アムンゼン(1911年)、英人スコット(1912年)、米人バード(1929年)である。バード氏の如き1934年再び飛行機で極地の探險を行ひ、35年貴重資料を齎し歸米したが、當時の模様は映畫によつてわれ々々が親しく知るところである。同地方は英領地と宣言されたもの多く、グラハム島、南ジョージア島、コートランド、南ヴィクトリアランド、クイン・メリランド島は之に屬す。バード氏發見のリトル・アメリカはロツス海附近に位す。

## 國際聯盟

(LA SOCIÉTÉ DES NATIONS  
(THE LEAGUE OF NATIONS))

【創設及任務】 ヴェルサイユ條約により1920年1月1日創設されたもので、聯盟規約二十五ヶ條に従ひ、國際平和維持、戰爭防止、軍備縮少、委任統治、少數民族保護の諸問題及び交通、保健、人道、文化等の諸問題を扱ふ。戰爭防止問題については規約第十條一十七條が適用されるも、加盟國間に紛争を生じた場合當事國は之を聯盟理事會または國際仲裁・判所に通告する義務があり、判決後または理事會の報告後三ヶ月を經過する迄は戰爭に訴へることができない。若し當事國の一方が反則的に戰爭を仕かけた場合、他の加盟諸國は反則國に對し經濟斷交、交通防遏をなす義務がある。加盟國と非加盟國との紛争に對しても理事會は調停に立つが、非加盟國が之を拒み、戰爭に訴へるときも經濟斷交、交通防遏をなす。併し最近の伊・エ紛争その他に於ても之等規約の發動は極めて不徹底に終り、聯盟機能の矛盾、弱體化を暴露するに至つてゐる。

【加盟國】 加盟國は1937年末で五七國(但しグアテマラ、ニカラグア、ホンデュラスは36年5月以降脱退通告)。



非加盟國は日本、獨逸、米國、ブラジル、埃及、コスタ・リカ、パラグアイ、サウチアラビアの入國である。またモナコ、サンマリノ、リヒテンシュタインは過小國の故で加盟を拒絶されてゐる。加盟は總會で三分の二以上の賛成を要し、脱退は通告して二年後有効となる。

【聯盟の機構】 聯盟は總會、理事會、各種委員會、事務局、國際労働機關、國際司法裁判所等より成る。

總會は加盟國の代表(一國三名以下、表決權一)全部より成り、定期(九月)並に臨時に開會し、法律問題、専門事項、軍縮、豫算、社會問題、政治問題等の提案、決議をする。

理事會は常任理事國四(英、佛、伊、蘇)、非常任國十一の代表一宛より成り、一月、五月、及び總會の前後に開き、規約に関する問題の處理をなし、亦、規約十一、十五、十七條に関する狀況が起れば隨時開會する。

各種委員會は總會及び理事會の補助機關で財政經濟、保健、交通、軍事、委任統治、社會問題、學藝協力、青少年保護、阿片・麻薬、奴隸問題等の各委員會に分る。

事務局 局長ほか職員六百名を算へ、總會及び理事會の準備、決定事項の執行に當り、各種の専門擔當部門を設く。

國際労働機關は労働會議、労働理事會、事務局より成り

各國の労働條件の改善に努む。労働會議は加盟六二國の代表(政府二、勞・資各一)より成り、年一回開く。理事會は定員三二名(政府十六、勞・資各八)より成り三ヶ月毎に開き總會の議題及びその他の重要案件を審議する。労働事務局は局長ほか職員四百名より成り各國労働者の生活、労働狀態の情報蒐集、定期刊行物の出版、總會の準備等に當る。

國際司法裁判所はヘーグ仲裁々判所とは別箇に設けられ、國際紛争を裁判するほか聯盟理事會、總會の諮問にも答ふ。加盟國は五十五、之より選舉された判事十五名(任期九年)が常任する。

【委任統治】 アフリカ及び太平洋に於ける舊獨領、舊トルコ領を聯盟が大戦参加の聯合國にその統治を委任したもので、統治形式は當時の被統治地の文化、經濟狀態に應じ次の三式に分けられてゐる。

(A)式は獨立國として認め得る程度に文化の發達せる地方に對し行ふもので、舊トルコ領のパレスティン、シリア、リバノンが之に屬す。(B)式は自立を認め得ぬ文化段階にあるものに對し行ひ、統治國は之に對し行政權及び立法權があるが通商上は對等とし、また砲臺、陸海軍根據

地を設け土民に軍事教育を施すことができない。この式に属するものは舊獨領のトーゴランド、カメルーン、タンガニカ、ルアンダ・ウルンチ。(C)式は人口稀薄、文化程度低く、統治國の一部として統治するもので、舊獨領の西南アフリカ、太平洋の南洋群島、ナウル、サモア、ニューギニアが之に属す。

### 地名索引

<b>ア</b>		印度(葡)..... 136	
愛蘭.....85	アイスランド..... 145	印度支那(佛)..... 106	
アセンション島(英).... 74	アゼルバイジャン..... 121	<b>ウ</b>	
アゾレス諸島(葡)..... 135	アデン(英)..... 70	ヴァヌアツ諸島(英).... 76	
アデン保護地..... 70	アメリカ合衆國..... 190	ヴァージン諸島(英).... 198	
アフガニスタン..... 56	アラビア諸國..... 62	ヴァチカン聖國..... 120	
アラスカ(米)..... 197	アルジェリア(佛)..... 103	ヴァチレツ島(英)..... 76	
アルバニア..... 182	亜爾然丁..... 228	ウインドワード諸島(英)78	
アンゴラ(葡)..... 135	アルメニア..... 121	ヴェルデ岬島..... 136	
安南..... 106	アンドラ..... 133	ヴェネズエラ..... 218	
<b>イ</b>		ウガンダ(英)..... 74	
伊太利..... 114	アンゴラ(葡)..... 135	ウクライナ..... 121	
イフニ(西)..... 132	安南..... 106	ウズベツク..... 121	
イラク..... 59	<b>エ</b>		
イラン(ペルシヤ)..... 57	英本國..... 64		
印度(英)..... 80	エーメン..... 62		
印度(佛)..... 106	エーゲ海諸島(伊)..... 119		
	エクアドル..... 222		
	エストニア..... 158		
	埃及..... 186		
	エチオピア..... 119		
	エトトレア(伊)..... 118		
	<b>オ</b>		

オーマン..... 63  
 黄金海岸(英)..... 76  
 埃地利..... 168  
 和蘭..... 141

カ

カイマン(英)..... 77  
 海峡植民地(英)..... 77  
 カザツク..... 121  
 カナダ..... 86  
 カナリア諸島(西)..... 128  
 カメルーン(英)..... 79  
 カメルーン(佛)..... 108  
 津太..... 32  
 カルカル(佛)..... 106  
 カロリン群島(日)..... 36  
 關東州..... 33  
 ガンビア(英)..... 76  
 カンボヂヤ..... 106

キ

北愛蘭..... 69  
 冀東自治政府..... 47  
 冀察政務委員會..... 47  
 北ローデシア(英)..... 75  
 キネア(佛)..... 104  
 キネア(西)..... 133  
 キネア(葡)..... 136  
 キヤナ(英)..... 78  
 キヤナ(佛)..... 107  
 キヤナ(和)..... 146

キュラサオ島(和)..... 146  
 キューバ..... 212  
 キプロス(英)..... 70  
 キルギス..... 121  
 ギルバート諸島(英)..... 77  
 ギリシア..... 184

ク

クアダル..... 63  
 ギアドルツブ島(佛)..... 107  
 グアム島(米)..... 199  
 グアテマラ..... 202  
 クインメリーランド..... 242  
 クツク諸島(英)..... 95  
 グランチャコ..... 227, 237  
 クリアムリア島(英)..... 70  
 グリーンランド(丁)..... 148

ケダー(英)..... 72  
 ケニア(英)..... 74  
 ケラントン(英)..... 72  
 ケルマデツク島(英)..... 95

コ

ゴア(葡)..... 136  
 コーワイト..... 63  
 濠洲..... 90  
 コーツランド(英)..... 242  
 コスタ・リカ..... 208  
 ゴールドコースト..... 76

瑞西..... 165  
 スダン(英埃)..... 79  
 スダン(佛)..... 104  
 西班牙..... 128  
 スピッツベルゲン(諸)..... 154  
 スマトラ(和)..... 144  
 スワヂランド(英)..... 75  
 スリナム(和)..... 146

セ

セイロン(英)..... 71  
 セーシエル諸島(英)..... 74  
 西南アフリカ(英)..... 98  
 赤道アフリカ(佛)..... 105  
 セネガル(佛)..... 104  
 セレベス島(和)..... 144  
 セントヘレナ島(英)..... 74  
 セントトーマ島(葡)..... 136

ソ

ソヴェート聯邦..... 121  
 象牙海岸(佛)..... 104  
 ソコトラ島(英)..... 70  
 ソシエテ諸島(佛)..... 107  
 ソマリランド(英)..... 74  
 ソマリランド(佛)..... 105  
 ソマリランド(伊)..... 118  
 ソロモン諸島(英)..... 77  
 ソロモン諸島(英委)..... 93

タ

コロンビア..... 220  
 コンゴ(白)..... 139  
 コンゴ(佛)..... 105

サ

ザウヂ・アラビア..... 62  
 サザアイ島(英)..... 95  
 サヴェジ諸島(英)..... 95  
 サモア諸島(英)(米)..... 98, 199  
 サラワク(英)..... 73  
 サルヴアドル..... 203  
 サロニカ自由地帯..... 193  
 ザンジバル(英)..... 74  
 サンマリノ..... 121  
 サンピエール島(佛)..... 106

シ

シエラ・レオネ(英)..... 76  
 ジブラルタル(英)..... 70  
 シヤム..... 51  
 ジヤマイカ(英)..... 77  
 ジャバ及マヅラ(和)..... 144  
 シヤンデルナゴル(佛)..... 106  
 ジョホール(英)..... 72  
 ジョルジア..... 12  
 シリア・リバノン(佛)..... 107  
 新疆(支)..... 48  
 新嘉坡(英)..... 71

ス

瑞典..... 150

臺灣..... 0  
 大ブリテン..... 64  
 大洋洲諸島 佛 ..... 107  
 タークス島(英)..... 77  
 タカール(佛)..... 104  
 タチク..... 121  
 タヒチ島(佛)..... 107  
 タホメ 佛)..... 104  
 タマン(葡)..... 136  
 唐努トウヴァ共和国... 51  
 タンガニイカ(英)..... 79  
 タンチヒ..... 113  
 タンチール(國際統治) 41

チ

中華民國..... 42  
 中華ソヴェート..... 46  
 チウ(葡)..... 136  
 チェツコスロヴァキア 173  
 西藏(支)..... 49  
 チモル(葡)..... 136  
 朝鮮..... 27  
 チュニス(佛)..... 104  
 チリ..... 35

ツ

ツツイラ島..... 199  
 ツブアイ諸島(佛)..... 107

テ

丁抹..... 146

ト

獨逸..... 108  
 トーゴランド(英).... 79  
 トーゴランド(佛).... 108  
 トケラウ島..... 95  
 トバゴ島 英)..... 78  
 ドミニカ..... 216  
 トランスジヨルダン(英)79  
 トリニダード島 英).... 78  
 トリポリ(伊)..... 118  
 トルクメン..... 121  
 トルシア..... 63  
 トルコ..... 60  
 ドルーズ(佛)..... 107  
 トンガ島 英)..... 77  
 トンキン(東京)..... 106

ナ

ナウル島(英)..... 79  
 南洋(日)..... 36  
 南洋諸島 英)..... 77  
 南阿聯邦..... 95  
 南極地方..... 242

ニ

ニカラグア..... 206  
 西印度(英)..... 77  
 西印度(蘭)..... 146  
 西アフリカ(佛)..... 104  
 西サモア(英)..... 95

ユージェル(佛)..... 104  
 エジエリア(英)..... 76  
 日本(内地)..... 21  
 ニューアイルランド島 93  
 ニューカレドニア..... 107  
 ニューギネア(英)..... 92  
 ニューギネア(濠)..... 93  
 新西蘭..... 93  
 ニューファンドランド 89  
 ニューブリテン島 英) 93  
 ニューヘブライズ島... 42

ヌ

ヌヤサランド(英)..... 74

ネ

ネパール..... 55  
 ネチド・ヘチヤス..... 62

ノ

ノーフォーク島(英).... 93  
 ノル威..... 152

ハ

ハーレン諸島(英)..... 70  
 ハイチ..... 215  
 パウモツ諸島(佛)..... 107  
 白ロシア..... 121  
 バストランド(英)..... 75  
 ハド라마ウト..... 63  
 パナマ..... 210

パナマ運河及同地帯米 211  
 パナマ諸島(英)..... 77  
 パプア(ニウギネア 英)92  
 パラグアイ..... 257  
 バルバドス島(英)..... 77  
 パレスティン(英)..... 78  
 布哇(米)..... 198  
 洪牙利..... 170

ヒ

東アフリカ(伊)..... 119  
 ビスマルク諸島(英).... 93  
 ビットケアン島(英).... 77  
 比律賓..... 53  
 ビルマ..... 84

フ

フイジー諸島(英)..... 76  
 芬蘭..... 155  
 フェニックス諸島(英) 77  
 フェル諸島(丁)..... 148  
 プェルト・リコ(米).... 198  
 プータン..... 55  
 フォークランド諸島(英)78  
 佛蘭西..... 98  
 ブラジル..... 231  
 プリンシプ島(葡)..... 136  
 ブルネイ(英)..... 73  
 ブルガリア..... 180

ヘ

ペーター島(諸)..... 155  
 彼南(ベナン)(英)..... 71  
 ペチユアナランド(英) 75  
 ペドロス島(英)..... 77  
 ペリム島(英)..... 70  
 ペルシア(イラン)..... 57  
 ベルムダ島(英)..... 77  
 白耳義..... 137  
 ベル..... 224  
 ベンガチ..... 119

ホ

ボーフエツト島(諸).... 155  
 波蘭..... 162  
 北部アイルランド..... 67  
 ボリヴァ..... 226  
 ボルネオ(英)..... 72  
 ボルネオ(蘭印)..... 144  
 ボルトガル..... 133  
 ボルト・リコ..... 198  
 香港(英)..... 73  
 ボンヂシエリ(佛)..... 106  
 ホンヂユラス..... 205  
 ホンヂユラス(英)..... 78

マ

マーシャル群島(日).... 36  
 マエ(佛)..... 106  
 マカオ(葡)..... 136  
 マダカスカル島(佛).... 105  
 マデイラ諸島(葡)..... 135

マラヤ(英)..... 71  
 馬來聯邦(英)..... 72  
 馬來非聯邦(英)..... 72  
 マラツカ(英)..... 71  
 マリアナ諸島(日)..... 36  
 マルタ(英)..... 70  
 マルデイヴ諸島(英).... 71  
 マルキーズ諸島(佛).... 107  
 マルチニツク島(英).... 107  
 滿洲帝國..... 37  
 マン島(英)..... 64

ミ

南アフリカ聯邦..... 99  
 南ローデシア(英)..... 75  
 南ジョージア(英)..... 242  
 南スラヴィア..... 75

メ

メキシコ..... 199  
 メーメル地方..... 162

モ

蒙古..... 49  
 (内蒙古)..... 49  
 (蒙古聯盟自治政府).... 49  
 (外蒙古)..... 50  
 モーリシアス島(英).... 74  
 モリタニア(佛)..... 104  
 モザンビク(葡)..... 136  
 モナコ..... 108

モロツコ(佛)..... 104  
 モロツコ(西)..... 132

ヤ

ヤナオン(佛)..... 106  
 ヤンメーエン(諸)..... 155

ユ

ユーゴースラヴィア... 195

ラ

ラタキア(佛)..... 107  
 ラオス..... 106  
 ラトヴィア..... 157  
 ラブラドル(英)..... 89  
 ラロトンガ島(英)..... 95  
 蘭領東印度..... 144  
 蘭領西印度..... 146

リ

リーワード諸島(英).... 77

リーヒテンスタイン... 167  
 オリデオロ(西)..... 132  
 リオムニ(西)..... 133  
 リトル・アメリカ..... 242  
 リトワニア..... 160  
 リビア(伊)..... 118  
 リベリア..... 189

ル

ルアンダ・ウルンヂ(白)140  
 ルーマニア..... 178  
 ルクセンブルグ..... 140

レ

レユニオン島(佛)..... 105

ロ

ロツスランド(英)..... 95  
 ロードス島(伊)..... 119  
 ローデシア(英)..... 75  
 羅馬法王座..... 120

(地名索引終)

昭和三十三年

# 日本國勢圖會

時變下の  
經濟讀本

矢野恒太・白崎享一編  
菊五判 菊五判 菊五判  
表七三二 表七三二 表七三二  
頁〇〇五 頁〇〇五 頁〇〇五  
上製 上製 上製  
三九四 三九四 三九四  
錢十五圓一 錢十五圓一 錢十五圓一  
送料四十錢

改訂重刷  
二十六版

本書創刊以來既に十二年、我國産業界及び經濟界各方面の最近の情勢と、世界經濟の動きを一眸のもとに眺め得る最良書として世上に定評あり。

## 我戰時經濟の姿

## 集めて此一巻にあり

特に本年版には戰時體制下に於ける我國經濟界の近情を詳細に解説す。豊富なる圖表、簡明なる統計、誰にも判る解説、これ本書の最大特長である。

東京第一橋本 國勢社 振替三六七 東京六

昭和八年二月二十五日 初版發行  
昭和八年五月二十日 第六版發行  
昭和九年六月十五日 改訂第八版發行  
昭和十年四月十五日 改訂第十一版發行  
昭和十年六月十五日 第十三版發行  
昭和十一年四月十五日 改訂第十六版發行  
昭和十二年四月三十日 改訂第十九版發行  
昭和十三年四月一日 改訂第二十三版發行

昭和十三年三月二十五日印刷  
昭和十三年四月一日發行

昭和十三年版 列國々勢年鑑  
定價三十三錢 送料三錢

編輯兼 發行人 白崎享一

東京市京橋・第一相互館  
發行所 國勢社

振替東京三三七六  
電話京橋二一八一―九

東京市神田區錦町二丁目五番地  
印刷所 文成社

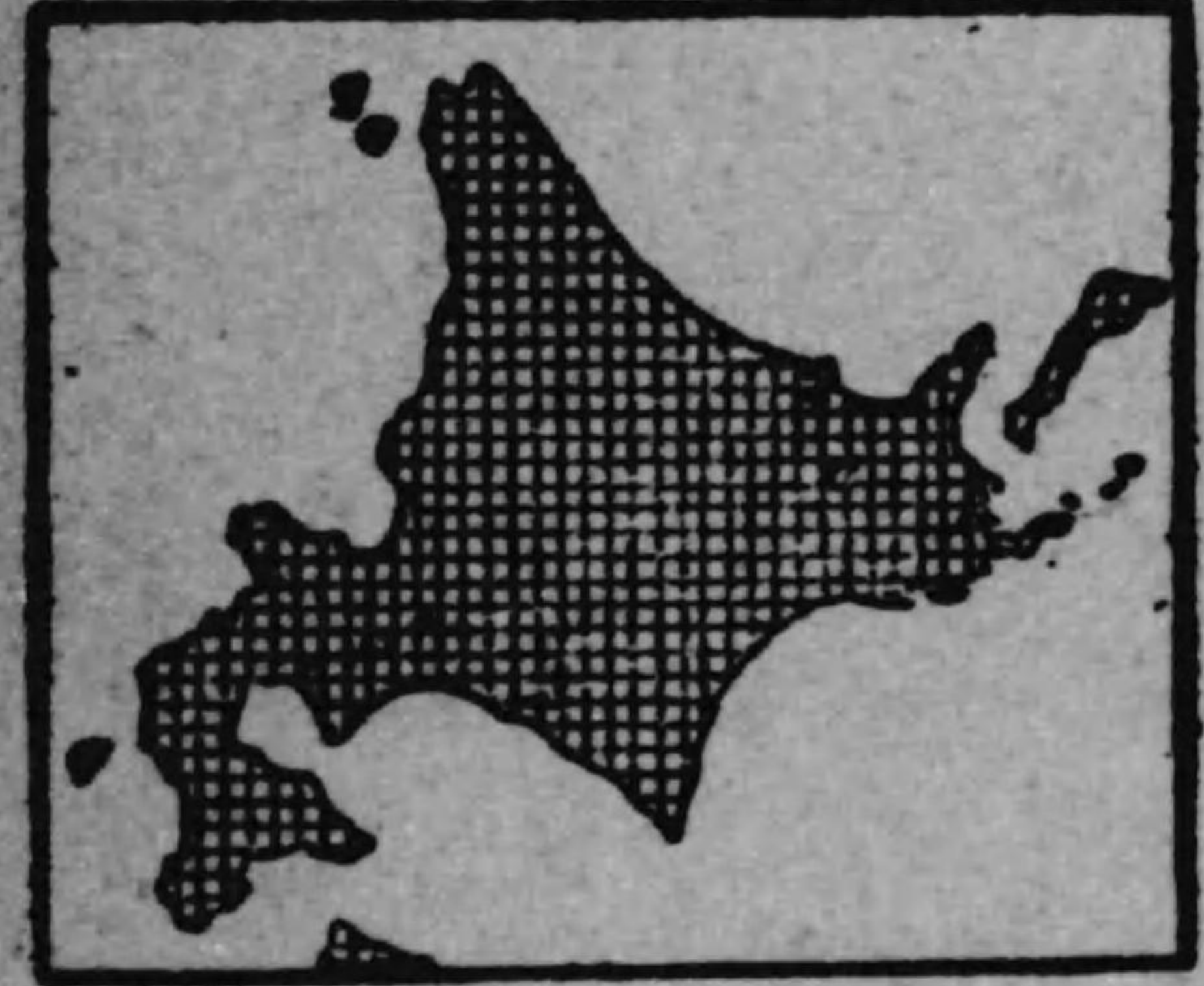
國勢社の

# 日本 白地圖

統計用 學習用

各圖の大きさ=28種×18種(9寸1分×6寸1分)  
畫用紙 オフセット水色刷(方眼一耗目)挿入

白地圖の陸地へ方眼目盛を施したものと普通の白地圖とを組合せて一組とす。方眼付白地圖は統計圖を畫くためである。各組毎に小冊子「統計地圖の畫き方」一部を添付す。



實物は水色刷に付方眼は目障りになりませぬ。

定價	
▲日本の部 1組 30錢	
全國地圖(普通)	5枚
(方眼)	6
(變形)	5
全一組	16枚
▲世界の部 1組 40錢	
世界地圖(普通)	4枚
(方眼)	4
東亞地圖(普通)	2
(方眼)	2
滿洲・北支(普通)	3
(方眼)	3
米國・歐洲(普通)	3
(方眼)	3
全一組	24枚
各組共「統計地圖畫き方」添付	
送料各10錢	

發行所 東京・京橋・第一相互館 國勢社

昭和十三年改訂版 (四六半載)

## 世界地理年鑑

## 日本地理年鑑

各年鑑共定價廿七錢 送料 三錢

內容概略

- |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|
| 面積 | 河川 | 港湾 | 財政 | 農産 | 水産 |
| 氣象 | 人口 | 都市 | 畜産 | 林産 | 鑛産 |
| 移民 | 職業 | 宗教 | 工業 | 貿易 | 海運 |
| 學校 | 陸軍 | 海軍 | 陸運 | 探險 | 附録 |

發行所 東京・京橋 第一相互館

國勢社 振替東京 三七六番

時局と共に刻々變化する我國内外の情勢を地理教授中に織込む事は學習者の興味を増し一方國民精神總動員の趣旨に合致する所も甚だ多い。教科書の改訂は内外情勢の此目まぐるしい變化に應じ切れず信頼すべき地理年鑑の出現は教育界多年の要望であつた。本書は此要求に合致した爲絶大の賞讃を博し、創刊以來既に五年、全國各學校に於て學生々徒の必須參考書に指定せらるゝ向が甚だ多い。

白崎享一著

四一六頁  
五頁挿  
クワ  
ロ  
ス個

定價五十錢  
六郵  
錢稅

# 統計グラフの画き方

本書は著者が十餘年間毎日統計グラフと親しんで来た経験から生まれた書で、理論は省いて實際の畫き方を主眼としたもの。統計グラフの應用は最近非常に廣まつて来たが、世上には未だ随分多くの誤まつた畫き方が行はれてゐる。本書の普及を望んで已まない次第である。

## 主要目次

統計圖の意義	足取圖
統計圖の種類	廣數分布
棒圖	對數目盛
棒の幅と目盛	點圖
棒の折曲げ	立體圖
同隔と内譯	統計地圖
面積圖	物象圖
短形圖	記録・計算圖
バイ圖	色彩と模様
線圖	文字の記入

發行所 東京・京橋・第一相互館 國勢社

圖書館協會推薦圖書(第七版)

# 商品の科學

白崎享一著・菊版470頁上製 寫真439  
佐久間哲三郎 圖版137

## 商品と産業の 科學的基礎知識

重要商品百數十種を選び、其性質、生産方法、用途等を科學的、技術的に解説した書籍。多數の圖版、寫真を駆使し、叙述は平易懇切を旨としたが、必要の場合には専門的領域にまで筆を進めてある。本書は普通の商品學や應用理科の本ではない。學術的に偏せず飽くまで、我産業の實情に即したことを最大の特長とする。

定價 三圓・送料 二十二錢

發行所 東京・京橋・第一相互館 國勢社

目次概要

燃電	料氣
金採	製材
工業	業業
加工	工原
窯油	業脂
可塑	品類
纖維	製品
肥料	料料
飼食	品品
醸造	品品
國防	資料
索	引



東京・京橋  
第一相互館

# ▲國勢社定期刊行物▼

振替東京  
三七六番

## 國勢グラフ

月刊雜誌 (送料)  
一部卅五錢 (送料)  
一ケ年 三圓九十錢  
誰にも判る解説と最新の統計を以て我國勢及び經濟界の動きを平易簡明に解説した月刊雜誌

## 日本國勢圖會

隔年刊行 (送料)  
一圓五十錢 (送料)  
菊 版五〇〇頁  
創刊以來既に十二年、產業及經濟界各方面最近の情勢と世界の動きを一眸の下に認め得る最良書として定評あり

## 列國々勢年鑑

年刊 (送料)  
定價卅三錢 (送料)  
四六半截版二八〇頁  
各國々勢一般の最新便覽。世界の全部の國を網羅し一ケ所と雖も省略せず。巻頭に圖表數十葉を掲ぐ。

## 日本地理年鑑

年刊 (送料)  
各廿七錢 (送料)  
四六半截版一九二頁  
毎年四月改訂新版發行。判り易き統計と圖表とにより、地理學習上必要な面積、人口、氣象、産業、貿易、國防其他人文現象全般に關する最新事實を掲載す。

## 世界地理年鑑

年刊 (送料)  
定價廿七錢 (送料)  
四六半截版一九二頁

## 商品年鑑

年刊 (送料)  
定價卅三錢 (送料)  
四六半截版二二〇頁  
諸商品の内外産額、貿易、市場價格など重要統計を掲げ、諸商品製造工程圖解商品化學方程式一覽等を添ふ。

## 農業年鑑

年刊 (送料)  
四十四錢 (送料)  
菊半截版 上製  
農業に關する諸統計、各種一覽表、農家メモ、農界ニウズ、圖表等よりなり一冊以て農界全般を知るに足る。

## 公民年鑑

年刊上下 (送料)  
各廿七錢 (各三錢)  
四六半截版一九二頁  
(新教授要目準據)政治、經濟、社會の基礎知識を解説、圖解、統計で説明した何人にも判る公民常識の寶典である。

## 理科年鑑

年刊 (送料)  
定價廿七錢 (送料)  
四六半截版一九二頁  
物理、化學の根本である諸種の定數、公式、方程式表等を初め、應用方面にも詳しい生きた科學年鑑である。

## 家事年鑑

年刊 (送料)  
定價廿七錢 (送料)  
四六半截版一九二頁  
國民各級の消費生活と我國の資源及應用科學の進歩との關係に最も力點を置いて編纂した新年鑑(四月創刊の豫定)

東京・京橋  
第一相互館

# ▲國勢社定期刊行物▼

振替東京  
三七六番

# 國勢ノフブ

## 産業と經濟の解説雑誌

豊富なる圖表と簡明なる統計を以て經濟界及其他一般國勢の動きを平易に解説する月刊雑誌

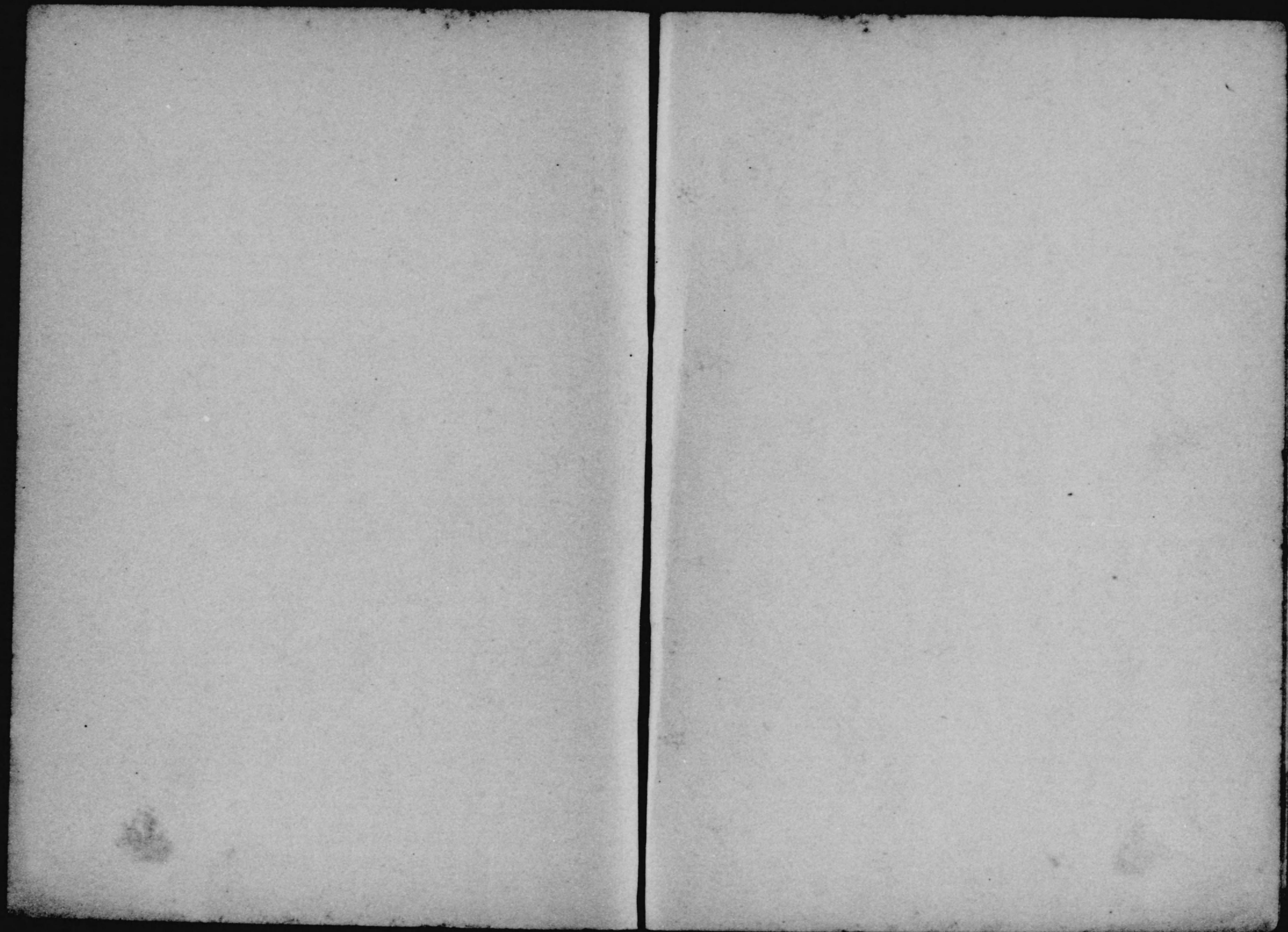
### 毎月の概要

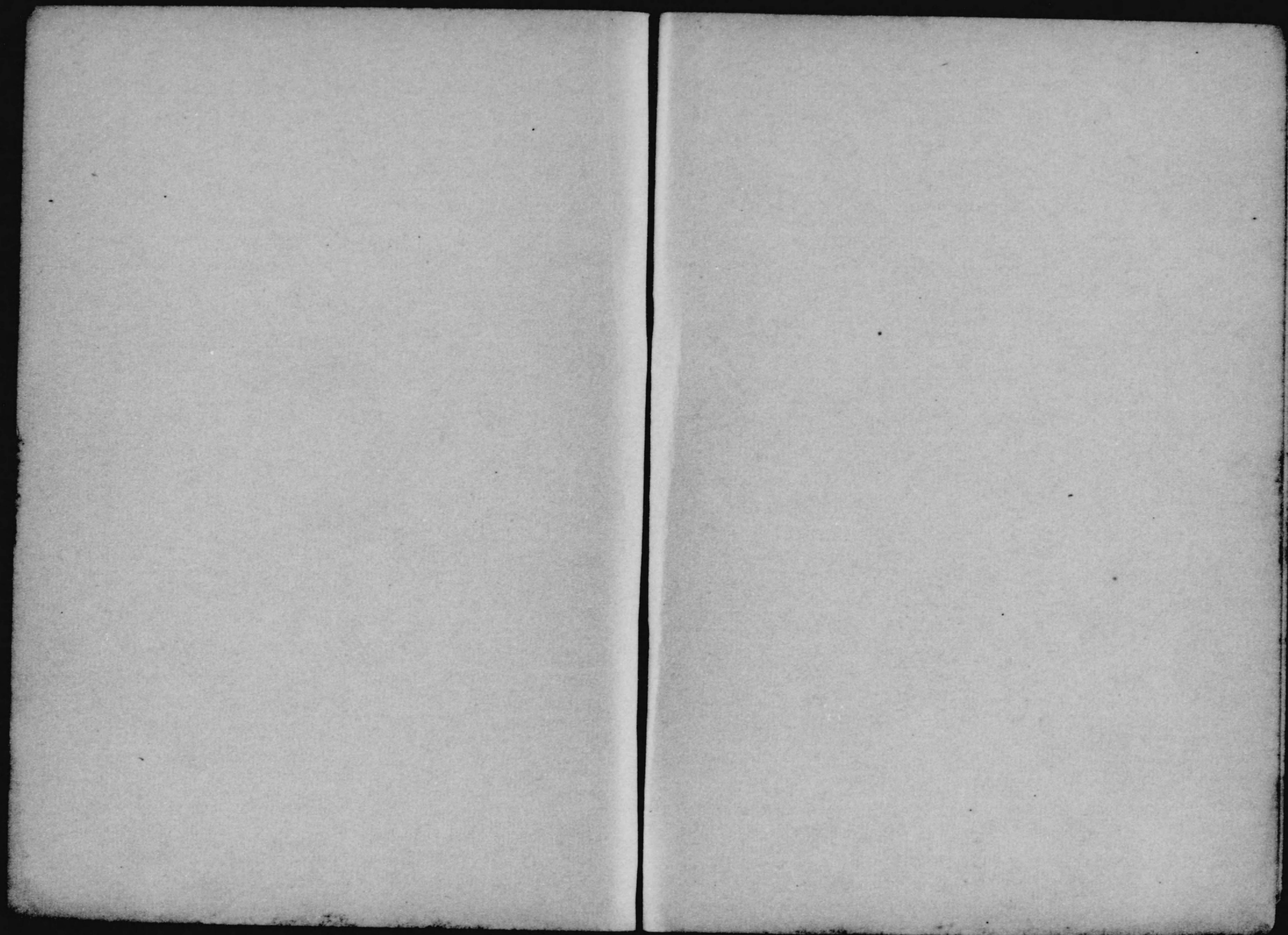
- |   |   |
|---|---|
| 經濟大勢圖表<br>卷頭論文<br>(統計と解説)                 | 産業常識欄<br>(諸商品製造工程)<br>展望臺<br>(産業の各部門・外交・政治・社會其他一般新事實解説) |
| 生産・消費<br>交易・物價<br>金融・財政<br>交通・通信<br>其他新統計 | 他山の石<br>(時事に關する海外新聞の抄譯)                                 |
| 經濟と科學欄<br>(生産技術の進歩と經濟の關係)                 | 定期附録<br>一月號(列國國勢年鑑)<br>四月號(本邦基本統計)<br>十月號(世界商品統計)       |

定價  
半年 海  
一年 外  
部分分分  
三二三四五六  
十四十五十六  
五十六十七十八  
錢錢錢錢錢錢錢  
(送料共)  
半年分中  
合は二十  
錢増し  
増大號を含む

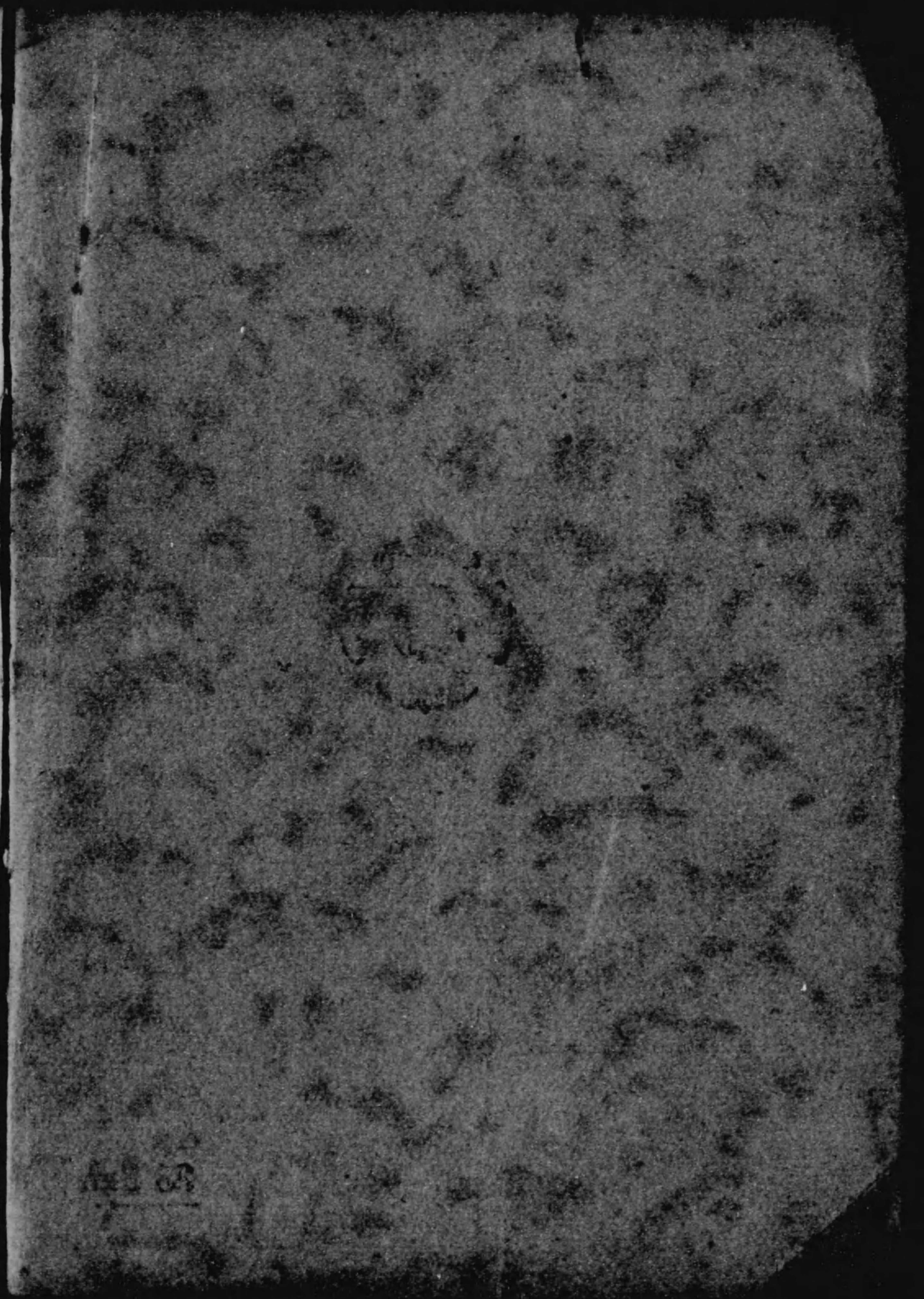
昭和十二年合本  
紙  
金四十錢 (送料共)  
金四十錢 (送料共)  
送料内地廿錢 (外地七十五錢)

發行所 東京・京橋 第一相互館 國勢社









647

149

۱۴۹

33 Sen.